

## 東京都台東区立ことぶきこども園及び東京都台東区立寿子ども家庭支援センターの 指定管理者候補者の選定結果について

### 1 対象施設

名 称 : (1) 東京都台東区立ことぶきこども園  
(2) 東京都台東区立寿子ども家庭支援センター

所在地 : (1) 台東区寿一丁目10番9号  
(2) 台東区寿一丁目10番10号

施設内容 : ①施設概要

敷地面積3,220.62㎡ 鉄筋コンクリート造 4階建

1、2階 ことぶきこども園 (定員213名 (0~5歳))

3階 寿子ども家庭支援センター

他、体育館、園庭等

②事業内容

○ことぶきこども園

就学前の子供に一貫した教育・保育を受ける機会を提供するとともに、地域における子育て支援を充実する。

○寿子ども家庭支援センター

子育ての相談や事業を通じ、子供と家庭を支援し、区民が安心して子供を産み育てることができる地域環境の形成を図る。

### 2 指定管理者候補者

名 称 : 特定非営利活動法人 子育て台東

所在地 : 東京都台東区谷中五丁目2番4号

代表者 : 理事長 藤原 芳子

主な業務内容 : 子育て支援事業、保育事業の実施

### 3 指定期間

令和6年4月1日から令和16年3月31日までの10年間

### 4 選定の経過の概要

6月14日 子育て・若者支援特別委員会 (指定管理者の選定方法の報告)

8月10日 指定管理者指定申請書受理

9月 1日 第1回審査会 (対象施設の視察及び審査基準の決定)

11月 7日 第2回審査会 (書類審査及び選定)

### 5 選定手続き

#### (1) 選定方法

台東区指定管理者制度運用指針3(2)①の規定を適用し、現行の指定管理者を公募によらず選定する。また、併設されている寿子ども家庭支援センターについては、同指針3(4)に規定する複合施設等の一括指定を適用する。

## (2) 公募によらない選定の理由

### <ことぶきこども園>

- ① 台東区認定こども園の理念として掲げる「0歳児から5歳児までの一貫した幼児教育・保育」を踏まえた保育計画・指導計画が作成されており、発達段階に応じた教育・保育を安定して実施している。
- ② 施設及び設備の保守管理を適切に行うとともに、利用者の安全確保を目的に火災・地震・不審者侵入時の対応など多様な場面を想定した訓練を実施するなど、様々な取組みを実施している。
- ③ P T A活動の実施や警察署、消防署等との交流、地域の町会で開催されるお祭りへ参加するなど保護者や地域との信頼関係を築いている。
- ④ 令和2年度に受審した第三者評価では、認定こども園として適正な運営状況が確認でき、保護者アンケート調査においても、運営全般に対する満足度が非常に高く、良好な園運営がなされている。

### <寿子ども家庭支援センター>

- ① 施設利用者数・新規登録者数とも区内のセンター・分室の中では最も多い。
- ② マニュアル作成や避難訓練・不審者対応訓練の定期的な実施が行われ、リスクに迅速な対応ができるように取組みができています。
- ③ こども園の園児との交流や園庭開放の利用を行い、こども園と連携して事業を実施している。保護者のサークル活動を支援し、保護者が講師となった講座の開催など、保護者が活躍できる場を提供している。
- ④ 常に利用者ニーズの把握と迅速な対応に取り組むとともに、対応結果を利用者に知らせるなど積極的に利用者満足度の向上を図っている。
- ⑤ 令和4年度に受審した第三者評価では、子ども家庭支援センター（地域子育て支援拠点）として適正な運営状況が確認できている。

### <同一事業者による運営>

ことぶきこども園と寿子ども家庭支援センターを同一の主体が運営することで、それぞれの特徴や専門性を生かした連携事業（例：こども園の栄養士による栄養指導、子ども家庭支援センター心理士による適切な発達相談指導）や合同避難訓練等の協力体制が確立されている。

## (3) 審査手順

外部有識者と区職員による指定管理者非公募選定審査会を開催し、申請者から提出された事業計画書等について審査を実施した。区は、審査会の審査結果を踏まえ、指定管理者候補者を決定した。

## 6 選定審査会構成員

	氏名	役職等
委員長	篠原 孝子	聖徳大学大学院講師
委員	鈴木 秀洋	日本大学危機管理学部教授
委員	越山 陽子	中小企業診断士
委員	塩原 純一	台東区民生委員・児童委員
委員	仲田 賢太郎	企画財政部経営改革担当課長

## 7 選考基準

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
①区の求める管理水準の確保	施設の設置目的に合致した管理運営	施設の管理運営に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
		地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
	施設の維持管理計画	具体的な維持管理計画となっているか。 安全、快適等が念頭に置かれているか。
	区民の平等利用の確保	公の施設としての役割を踏まえ、区民の平等利用に留意されているか。
	人員の配置計画	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
		施設の管理運営にあたる人員が合理的に配置されているか。
有資格者などの配置は適切か。 労働法令の遵守や、雇用・労働条件への適切な配慮がなされているか。		
②サービス向上への取組み	利用者に対するサービスの向上	利用者の要望・意見・苦情等を把握し、改善に結びつける方策がとられているか。
		利用者のために有益な情報提供を適時かつ十分に行えるよう考えられているか。
		定期的に評価し、改善に結びつける方策がとられているか。
	自主事業	自主事業の内容が、施設の設置目的に合致しており、かつ利用者にとって魅力的なものとなっているか。
		現実的な収入見込みであるか。
		支出の抑制が図られているか。
	管理・運営についての提案	施設の現状を正しく認識し、今後の施設のあり方について具体的かつ適切な提案があるか。
		施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
		複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
		施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
③運営効率化への取組み	管理経費の効率化	効率的な運営を行うための実施可能な提案があるか。
		管理運営に支障が生じない、現実的な経費見積もりがなされているか。
		清掃、警備、設備の保守点検などの業務を再委託する場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。
		効率的な管理運営のための創意工夫が見られるか。
	収入の確保	利用料金制を導入する施設については、利用料金の設定が適切であるか。
		収入を増加するための実施可能な提案があるか。
④危機管理・安全確保の取組み	緊急時対策・防災対策	緊急時の対応を適切に行うための対策が講じられているか。
	個人情報の管理	個人情報の管理体制は適切か。
⑤職員育成の取組み	職員の研修計画	職員の専門的知識・技能を向上させる職員研修計画となっているか。また、計画・実施・成果・改善の工程が適切に実施されており、日常の業務に活かされているか。
⑥その他施設固有の性質等による項目	こども園の教育・保育内容及び質の向上 (理念・目標)	台東区の認定こども園の理念・目標を踏まえた教育・保育内容となっているか。また、教育・保育の質を高めるための具体的な取組みがあるか。
	こども園の教育・保育内容及び質の向上 (個々への関わり)	子供一人ひとりの人格を大切にし、子供を第一とした視点で寄り添うなど個々の子供との関わりを中心とした内容となっているか。
	子育て支援事業の実施内容	子育て支援の事業内容が、地域の子育て支援環境の向上につながるものとなっているか。
	台東区の幼児教育・保育・子育て支援の発展への寄与	台東区の幼児教育・保育・子育て支援の発展に寄与していくための具体的な提案があるか。

## 8 審査結果

### (1) 得点

審査項目		配点	指定管理者候補者
書類審査	① 区の求める管理水準の確保	125点	105点
	② サービス向上への取組み	125点	106点
	③ 運営効率化への取組み	50点	41点
	④ 危機管理・安全確保の取組み	50点	39点
	⑤ 職員育成の取組み	50点	44点
	⑥ その他施設固有の性質等による項目	200点	190点
合計		600点	525点
得点率%【合格基準70%以上】			87.5%

### (2) 指定管理者候補者の主な提案内容

- ・ こども園や子ども家庭支援センターに関わった親子が、学校や地域で特技や個性を発揮して活躍することができるような質の高い教育・保育、子育て支援を引続き実現していく。
- ・ 人との関わりや実体験を重視した取組みをさらに充実させ、子供の主体性を発揮させる教育・保育を展開していく。
- ・ 第三者評価や利用者からの評価等、様々な角度からの評価を継続し改善と充実を図る。また、職層に応じた研修を充実させ、さらなる職員の質の向上に努めていく。

### (3) 選定審査会における主な意見

- ・ 広々と使える園庭など恵まれた環境を最大限活用し、子供の主体性を育むための教育・保育を大事にしている。また、園の指導計画が「期毎」「月毎」に細かく記載されており、新しい職員でも実践できる内容となるよう工夫している。
- ・ 地域のお祭りへの参加や、東京芸術大学と連携した月に1回のミニコンサートの開催など外部との交流活動を積極的に行っている。
- ・ 日常保育の公開研究会を毎年実施するなど職員育成に努めている。また様々な場面を想定した災害訓練を実施するとともに、個人情報管理の徹底など安全・安心な園運営に取り組んでいる。
- ・ 今後は申込み手続きのオンライン化など積極的なICT活用に努め、利便性の向上を図る取組みを期待する。
- ・ 寿子ども家庭支援センターでは、離乳食の作り方や親子での遊びなど、保護者のニーズに対応した取組みを充実させており、適切に子育て支援事業が実施されている。
- ・ 両施設が実施する教育・保育、子育て支援が連動しており、複合施設として適切な運営ができています。今後も子育てニーズの変化に応じて、相互に新たな提案を実施していくなど、より一層の連携強化を期待する。

## 9 今後のスケジュール

令和6年4月

指定管理者との協定締結  
指定管理業務開始